

城南魂

正しい心
美しい心
粘り強い心

自分で線を引く。

朝晩の寒さが厳しくなり、本格的な冬の到来を感じさせる今日この頃です。寒くなったせいか、最近、制服のそで口から、中からきているセーターを手が見えないくらいに出したり、制服のすそからセーターが出ていたりしている人を見かけます。また、袖のボタンが開いたままだったり、学生服やボックスコートのボタンがしまっていないなかったりしている場面も見かけます。今回は制服の「着こなし方」「身だしなみ」について考えてみましょう。

社会人の基本的なマナーの中には、礼儀正しい態度や動作、正しい言葉遣い、約束の時間を守る、相手より先に挨拶する、などありますが、もう一つ「身だしなみを整える」というのも、大人のマナーになります。「おしゃれを整える」とは言いません。「おしゃれ」とは、自分の評価だからです。ですから、私的な時間（家で過ごすときや学校が休みの時など）は、自分の趣味や感覚で服装を決めます。しかし、公の場（公式の場）というものは、周りの人たちがその機会や場所を大切にしたいという思いから、身だしなみも整えています。

例えば、昨年のワールドカップ（サッカー）や、今年のWBC（野球）の帰国会見の際には、選手はみんなスーツを着て、身だしなみを整えられていました。これは、「時と場に合った服装をしよう。」という意識があったからだと思います。「身だしなみ」は周りの人が評価するものです。なので、学校ではみんなが大人になって「着こなし方」「身だしなみ」の必要性を理解して生活できるように、その大切さを伝えていきます。

みなさんは「規則」「規律」という言葉を知っていますか？

規則は「ルール（きまり）」です。城南中学校でも、新生徒会役員を中心に、学校内の規則について見直しを図っていこうと準備をしています。学校のき

まりは、生徒全員の安心・安全を守り、楽しく、けじめのある学校生活を送るために決められています。

規律とは「マナー」です。マナーは社会も学校も共通していることが多いです。マナーも相手や場所を大切にしたいという思いからつくられており、必要なものです。

この、「規則」、「規律」を守って、みんなが安心して、安全に気持ちよく過ごせるような学校にしていくために必要なこと、それは、自分の中に行動基準（ここまではいい。ここからはダメだ。という線を自分の中に持っているかどうか）をもつことです。

世の中には線は引かれていないけれど、いろんな物事に対して出てはいけない線があります。

「授業中、変な音や声をあげて騒ぐ」「サイクリングロードや道路で横に広がって自転車を運転する」「廊下や図書館で大声で話す・走り回る・騒ぐ」など、一線を越えてしまっています。小さい子は仕方ありません。そこで注意されたり、叱られたりして、だんだん自分の中で、こういう時は、この辺が越えられない線なんだな、、、と学んでいる最中ですから。

中学生は、幼い子と変わらないではいけません。「自分で線を引く」というのが中学生です。それを別の言葉で言うと「自律」ということなのです。「自律」とは、「節度をもって生活する」ことなのです。

あなたの身だしなみは整っていますか。

自律した中学生として恥ずかしくない言動ができていますか。自分の心に線が引けていますか。

自分の2023年を振り返って、残りの一ヶ月、反省すべきところをしっかりと反省し、得意な部分はもっともっと伸ばしていきましょう。

〈保護者様へ〉

寒くなり、遅刻ぎりぎりの生徒が増えてきているように感じます。急いでいると事故に遭う危険性が高まります。少しでも余裕をもって登校するようご家庭でも話をさせていただきますよう、お願いいたします。